



平成27年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年9月12日

上場会社名 フリービット株式会社

上場取引所 東

コード番号 3843 URL <http://www.freebit.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 石田 宏樹

問合せ先責任者 (役職名) グループ経営管理本部長

(氏名) 和田 育子

TEL 03-5459-0522

四半期報告書提出予定日 平成26年9月16日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (全投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年4月期第1四半期の連結業績(平成26年5月1日～平成26年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年4月期第1四半期	5,290	0.7	345	12.7	325	17.6	540	—
26年4月期第1四半期	5,252	△0.4	306	100.7	276	144.1	△64	—

(注) 包括利益 27年4月期第1四半期 493百万円 (—%) 26年4月期第1四半期 △55百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年4月期第1四半期	27.65	27.58
26年4月期第1四半期	△3.30	—

(注) 平成26年4月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
27年4月期第1四半期	17,573		6,838		36.2	
26年4月期	16,732		6,486		36.1	

(参考) 自己資本 27年4月期第1四半期 6,366百万円 26年4月期 6,042百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年4月期	—	0.00	—	7.00	7.00
27年4月期	—	—	—	—	—
27年4月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年4月期の期末配当予想については未定です。

3. 平成27年4月期の連結業績予想(平成26年5月1日～平成27年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	23,000	11.3	1,500	13.6	1,350	10.7	600	154.5	円 銭 30.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) フリービットクラウド株式会社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年4月期1Q	20,414,000 株	26年4月期	20,414,000 株
② 期末自己株式数	27年4月期1Q	868,800 株	26年4月期	868,800 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年4月期1Q	19,545,200 株	26年4月期1Q	19,543,191 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手若しくは閲覧の方法)

- ・決算補足説明資料は、TDnetで同日開示を行うとともに当社ウェブサイトにも掲載する予定です。
- ・決算説明会内容は、その記録動画を当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において、当社グループが判断したものであります。

当社グループは、中期経営計画「SiLK VISION 2016」の2年目において、将来の成長が予想される3つの領域「モバイル革命」「生活革命」「生産革命」への徹底した顧客志向のサービス投入をテーマとし、以下の平成27年4月期の基本方針に則り取組みを開始いたしました。

<平成27年4月期基本方針>

1. モバイル事業の成長

- ・ freebit mobileのユーザー数拡大及びYourNet MVNO Packのパートナー企業の拡大
- ・ 競争力のあるコスト構造の構築

2. クラウド事業の成長

- ・ 競争力のあるコスト構造とサービスの構築及び回線/クラウド/アプリの統合サービスの提供

3. アドテクノロジー事業の成長

- ・ 子会社の株式会社フルスピード（以下、「フルスピード」）との積極的な技術融合によるDSP/3PASの開発を推進し、アドテクノロジー企業としての地位の確立を目指す

4. 新規事業の立上げ

- ・ M2M/ビッグデータ技術を利用した医療周辺サービスの第2弾展開

5. 戦略的投資の実行

- ・ グループブランド構築のための継続的投資
- ・ 成長の下支えとしてコア事業関連の買収戦略の実行

当第1四半期連結累計期間においては、重点事業が順調に推移し、増収増益を達成いたしました。

モバイル事業においては、子会社の株式会社ドリーム・トレイン・インターネット（以下、「DTI」）のSIM単体のモバイル通信サービス「ServersMan SIM LTE」が順調に推移したことに加え、前連結会計年度に開始した、通話基本料及びパケット通信代合わせて月額1,000円（税抜）、独自開発の端末「PandA」の料金を合わせて月額2,000円（税抜）からのスマートフォンサービス「freebit mobile」の販売エリア拡大及び積極的プロモーション、さらに、法人向けMVNOサービス「YourNet MVNO Pack」導入の大手事業者におけるユーザー獲得が進んだこと等により、売上高は増加いたしました。

クラウドコンピューティングインフラにおいては、主力サービスであるVDCの受注が大手既存顧客及び新規顧客ともに増加したこと及び体制面並びにコスト構造等の改革により収益が拡大いたしました。

また、固定網の接続サービスについては、減少傾向が終息し、新規エンドユーザーの獲得及び子会社の株式会社ギガプライズ（以下、「ギガプライズ」）が提供する集合住宅向けインターネット接続サービスが順調に推移いたしました。また、固定網の成長鈍化を想定し、前連結会計年度に実施した基幹網の大規模な再構築におけるコスト削減効果も利益拡大に貢献いたしました。

一方、アドテクノロジーインフラにおいては、膨大なコンピューティングパワーとビッグデータ解析技術を活用した広告統合管理システムの積極的な拡販を実施いたしました。不採算のEC事業からの撤退及びテクノロジーを活用した競争優位性のある広告サービスの開発に注力したこと等により、売上高及びセグメント利益ともに前年同期を下回りました。以上の結果、売上高は5,290,542千円（前年同期比0.7%増）、営業利益は345,981千円（前年同期比12.7%増）、経常利益は325,014千円（前年同期比17.6%増）となりました。また、子会社であるフリービットクラウド株式会社を平成26年5月1日付でDTIに吸収合併したことにより、繰延税金資産を計上いたしました。以上の結果、四半期純利益は540,470千円（前年同期は64,428千円の四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① ブロードバンドインフラ

MVNOサービス拡販による固定回線依存の体質からの脱却が功を奏し、モバイル通信の契約数は順調に推移いたしました。さらに、ギガプライズを中心としたマンションインターネットサービスも堅調に推移し、その結果、売上高は2,043,323千円（前年同期比7.9%増）となりました。売上の増加に加え、前連結会計年度に実施した基幹網の大規模な再構築によるコスト削減も寄与し、セグメント利益は273,292千円（前年同期比59.9%増）と大幅な増益となりました。

② クラウドコンピューティングインフラ

法人向けIP電話サービスの契約終了により売上高は減少するも、主力サービスであるVDCの受注が大手既存顧客及び新規顧客ともに増加いたしました。また、体制面及びコスト構造等の改革を実施いたしました。以上の結果、売上高は513,423千円(前年同期比5.2%減)、セグメント利益は12,719千円(前年同期は50,854千円のセグメント損失)となりました。

③ アドテクノロジーインフラ

潤沢なネットワーク、コンピューティングリソースにより継続的な差別化が可能と想定される広告主によるリアルタイムの広告入札と配信先選定をテクノロジーで自動化する広告配信システムAdMatrix DSP(Demand Side Platform)を積極的に拡販いたしました。また、不採算のEC事業からの撤退し、競争優位性のあるアドテクノロジーサービスの開発に注力いたしました。以上の結果、売上高は2,053,003千円(前年同期比2.5%減)、セグメント利益は119,683千円(前年同期比24.2%減)となりました。

④ 次世代インターネット・ユビキタスインフラ

M2M領域においてのコアコンポーネントである「Plug in Cloud」の開発を進め、シンプルなソリューションによる顧客提案の拡大を継続し、また、独自開発の端末「PandA」の開発を進めました。以上の結果、売上高は10,613千円(前年同期比14.3%増)、セグメント損失は48,618千円(前年同期は39,009千円のセグメント損失)となりました。

⑤ B2C

DTIにおいて、月額467円(税抜)で最大250Kbpsでの常時接続が可能なエンドユーザー向けの無線通信サービス「ServersMan SIM LTE」、当社の特許技術を採用したスマートフォン向けIP電話サービス「ServersMan 050」等、MVNOサービスの提供に注力いたしました。さらに、端末代を含め月額2,000円(税抜)からのスマートフォンサービス「freebit mobile」の販売エリア拡大及び積極的プロモーション等の戦略的投資を実行したことにより、モバイルユーザー数の拡大に寄与いたしました。以上の結果、売上高は1,180,405千円(前年同期比3.4%増)、セグメント利益は135,123千円(前年同期比45.2%減)となりました。

セグメント別売上高及びセグメント損益

(単位:千円)

区分	売上高	セグメント利益 又は損失(△)
ブロードバンドインフラ	2,043,323	273,292
クラウドコンピューティングインフラ	513,423	12,719
アドテクノロジーインフラ	2,053,003	119,683
次世代インターネット・ユビキタスインフラ	10,613	△48,618
B2C	1,180,405	135,123
その他	43,119	7,242
調整額	△553,347	△153,461
合計	5,290,542	345,981

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は17,573,295千円となり、前連結会計年度末と比べて840,659千円増加しました。これは主として、現金及び預金が614,264千円増加したことによるものです。

負債は10,735,293千円となり、前連結会計年度末と比べて489,329千円増加しました。これは主として、未払金が119,922千円及び長期借入金(1年内返済予定の長期借入金含む)が538,388千円減少したものの、短期借入金が1,234,168千円増加したことによるものです。

純資産は、主に四半期純利益により利益剰余金が増加したこと等により、前連結会計年度末と比べて351,330千円増加の6,838,001千円となり、この結果、自己資本比率は36.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年4月期の通期の連結業績予想につきましては、当第1四半期の業績が概ね想定通り推移しているため、平成26年6月13日に公表しました数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、フリービットクラウド株式会社については、平成26年5月1日付で株式会社ドリーム・トレイン・インターネットと合併したため、連結の範囲から除いております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,761,917	5,376,181
受取手形及び売掛金	2,947,579	2,942,435
商品及び製品	84,388	119,988
仕掛品	2,652	1,881
原材料及び貯蔵品	4,908	6,138
その他	2,388,478	2,595,446
貸倒引当金	△159,139	△198,397
流動資産合計	10,030,784	10,843,674
固定資産		
有形固定資産	1,937,816	1,936,700
無形固定資産		
のれん	2,900,441	2,740,091
ソフトウェア	247,410	315,910
その他	168,403	117,592
無形固定資産合計	3,316,256	3,173,594
投資その他の資産		
投資有価証券	967,117	867,123
差入保証金	376,129	373,618
その他	520,283	796,703
貸倒引当金	△415,753	△418,119
投資その他の資産合計	1,447,778	1,619,325
固定資産合計	6,701,850	6,729,620
資産合計	16,732,635	17,573,295
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	50,242	76,298
短期借入金	1,382,500	2,616,668
1年内返済予定の長期借入金	2,066,511	1,769,883
未払金	3,247,706	3,127,783
未払法人税等	192,217	90,638
引当金	78,874	38,287
その他	897,034	954,138
流動負債合計	7,915,086	8,673,697
固定負債		
長期借入金	1,622,188	1,380,428
引当金	23,215	19,679
その他	685,472	661,488
固定負債合計	2,330,877	2,061,595
負債合計	10,245,964	10,735,293

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,045,685	3,045,685
資本剰余金	1,673,902	1,673,902
利益剰余金	1,782,392	2,191,777
自己株式	△488,747	△488,747
株主資本合計	6,013,232	6,422,617
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,083	△79,115
為替換算調整勘定	24,031	22,682
その他の包括利益累計額合計	29,115	△56,433
新株予約権	828	828
少数株主持分	443,495	470,989
純資産合計	6,486,671	6,838,001
負債純資産合計	16,732,635	17,573,295

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年7月31日)
売上高	5,252,766	5,290,542
売上原価	3,302,365	3,330,100
売上総利益	1,950,401	1,960,442
販売費及び一般管理費	1,643,531	1,614,461
営業利益	306,870	345,981
営業外収益		
受取利息	951	89
受取配当金	203	2
受取保険料	5,678	—
その他	1,208	2,220
営業外収益合計	8,042	2,312
営業外費用		
支払利息	25,064	19,998
持分法による投資損失	8,703	1,796
その他	4,734	1,484
営業外費用合計	38,502	23,279
経常利益	276,410	325,014
特別損失		
減損損失	41,458	—
過年度決算訂正関連費用	167,751	—
その他	4,845	—
特別損失合計	214,055	—
税金等調整前四半期純利益	62,354	325,014
法人税、住民税及び事業税	43,368	98,334
法人税等調整額	80,519	△353,035
法人税等合計	123,888	△254,700
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△61,533	579,714
少数株主利益	2,895	39,243
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△64,428	540,470

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△61,533	579,714
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△44	△84,263
為替換算調整勘定	1,941	△1,047
持分法適用会社に対する持分相当額	3,823	△703
その他の包括利益合計	5,720	△86,014
四半期包括利益	△55,812	493,700
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△59,503	454,922
少数株主に係る四半期包括利益	3,691	38,778

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成25年5月1日 至 平成25年7月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	ブロードバンド インフラ	クラウドコンピ ューティング インフラ	アドテクノロジ ーインフラ	次世代インター ネット・ユビキ タスインフラ	B2C
売上高					
外部顧客への売上高	1,448,473	485,335	2,094,485	9,280	1,140,703
セグメント間の内部売上高 又は振替高	445,851	56,137	10,963	2	562
計	1,894,325	541,472	2,105,449	9,282	1,141,265
セグメント利益又は損失(△)	170,904	△50,854	157,808	△39,009	246,492

(単位：千円)

	その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高				
外部顧客への売上高	74,487	5,252,766	—	5,252,766
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,828	527,346	△527,346	—
計	88,316	5,780,112	△527,346	5,252,766
セグメント利益又は損失(△)	△17,767	467,573	△160,703	306,870

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△160,703千円には、のれん償却額△167,513千円、貸倒引当金の組替額5,359千円及びその他の連結調整額1,451千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成26年5月1日 至 平成26年7月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				
	ブロードバンド インフラ	クラウドコンピューティング インフラ	アドテクノロジー インフラ	次世代インターネット・ユビキ タスインフラ	B2C
売上高					
外部顧客への売上高	1,558,296	459,729	2,044,617	6,814	1,179,577
セグメント間の内部売上高 又は振替高	485,026	53,694	8,386	3,799	828
計	2,043,323	513,423	2,053,003	10,613	1,180,405
セグメント利益又は損失（△）	273,292	12,719	119,683	△48,618	135,123

（単位：千円）

	その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高				
外部顧客への売上高	41,507	5,290,542	—	5,290,542
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,612	553,347	△553,347	—
計	43,119	5,843,890	△553,347	5,290,542
セグメント利益又は損失（△）	7,242	499,443	△153,461	345,981

(注) 1. セグメント利益又は損失（△）の調整額△153,461千円には、のれん償却額△156,066千円、貸倒引当金の組替額965千円及びその他の連結調整額1,638千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の測定方法の変更

第1四半期連結会計期間より、報告セグメント別の経営成績をより適切に反映させるため、ブロードバンドインフラ、クラウドコンピューティングインフラ及びアドテクノロジーインフラに関する一部の費用の配賦方法を各セグメントの事業実態にあった合理的な基準に基づき配賦する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の配賦方法に基づき作成したものを開示しております。